

新年のご挨拶

老人保健施設 一羊館 施設長 柳川右千夫

令和7年 新年明けましておめでとうございます。

利用者の皆様および地域の皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。老人保健施設 一羊館は平成8年に設立され、約30年を経過しようとしています。「利用者の方々すべてに尊厳、安心、満足を！」を理念として、利用者の皆様が自立した在宅生活ができるように機能訓練、日常生活のお世話をお手伝いしています。また、在宅復帰した後も通所リハビリや短期入所を利用することで介護者をサポートしています。入所定員が100名の当館では80名を越える職員が勤務しています。特にリハビリ担当のスタッフが10名おり、身体機能の回復や自立した生活を送るためのリハビリ提供を手厚くできることが当館の特徴の一つです。また、昨今、医療的処置（痰の吸引、酸素吸入、経管栄養、褥瘡処置など）を必要とする高齢者ほど介護施設に入所しにくい現実があり、介護難民となっています。当館ではこのような方を受け入れておりますが、更なる受け入れ増加を目指し職員のレベルアップを図っております。

さて、新型コロナウイルス感染症の発生（2019年12月）から6回目の正月となります。この感染症が「2類相当の感染症」から「5類感染症」に移行したこともあり、社会、経済活動は着実に回復しているようです。しかしながら、高齢者施設にとって大敵であり、警戒を緩めることはできません。そこで、感染の状況をみながら感染拡大防止に努めてまいります。利用者のご家族並びに関係各位には、感染防止のためとはいえ長期にわたる面会制限などご辛抱を頂いておりますが、もうしばらくのご容赦をお願いする次第です。コロナ禍が終息し、様々な制限が無くなることを願うばかりです。

これまでの関係各位のご指導ご協力を御礼申し上げますとともに、本年も当館の理念のもとに職員一同が多職種協働して業務にあたっていきますので、相変わらずのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。